

## 諮問の趣旨

### 1 長野市の現在の福祉医療制度における主な課題

- (1) 「乳幼児等」の対象年齢について、通院・入院とも県内他市と比較して、低い水準にある。
- (2) 「精神障害者(2級手帳所持者)」の受給資格について、対象者は「自立支援医療の通院のみ」に限定されているが、他の障害区分(身体、知的)と比較して、差が生じている。

### 2 長野市の福祉医療制度を取り巻く状況

- (1) 市民や各種団体から、制度見直しの要望が非常に多い。
- (2) 平成23年2月9日の市長への答申において、精神2級について見直しに向けた必要性が述べられている。
- (3) 少子化対策、障害者支援等の観点から、福祉医療制度の役割は重要性を増しており、制度の見直しは喫緊の課題である。
- (4) 県財政(県補助)、市財政は依然厳しい状況にある。

### 3 今後の予定

#### 臨時専門分科会の開催予定

- |     |        |     |               |
|-----|--------|-----|---------------|
| 11月 | 2日(水)  | 第1回 | 諮問の趣旨、福祉医療制度等 |
| 12月 | 19日(月) | 第2回 | 協議            |
| 1月  | 日( )   | 第3回 | 答申(案)の作成      |
- ・第2回 長野市社会福祉審議会(1月25日予定)での報告、了承
  - ・市長へ答申(2月上旬)

\*平成24年度予算の編成時期も考慮し、1月中旬には答申(案)をお願いしたい。